

上部消化管経鼻内視鏡検査の説明および同意書

【検査目的】

食道・胃・十二指腸の病変の有無を調べるために行います。

【検査の具体的方法と手順】

検査時間は5分から15分程度です。

- ①胃の中の泡を消す薬を服用し、次に喉の麻酔をする薬を含んで麻酔をします。
- ②鼻の中に血管を収縮させる薬を投与した後、ゼリー状の麻酔薬のついた柔らかいチューブを鼻に挿入します。
- ③直径約5mmの内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸の観察をします。
- ④病変を認めた場合は、色素を散布したり、組織の採取(生検)を行います。採取した検体は専門の施設で顕微鏡検査を行い、良性か悪性かを調べます。

*鼻腔が狭く、内視鏡が通過しない場合、経鼻内視鏡を口から挿入して検査します。

【偶発症】

非常にまれですが、以下の偶発症が起こる可能性があります。

- ①カメラのこすれによる喉の傷
- ②生検をした際の出血
- ③鼻出血
- ④消化管穿孔
- ⑤前処置の薬剤によるアレルギー
- ⑥治療中の病気の悪化

このような偶発症を避けるべく細心の注意を払いますが、万が一発生した場合には最善の対処を致します。

上記の検査に関する説明を受け、納得しましたので検査を受けることに同意します。

令和 年 月 日

患者様または代理人(続柄 _____)署名 _____

緊急連絡先 _____

あすかい内科